

ダイズ作における帰化アサガオ類対策

1 アサガオ類の被害実態

(1) アサガオ被害の拡大

- ・ここ数年、ダイズ畑で帰化アサガオ類が大発生しています。
- ・西三河地域のダイズ作において、アサガオ類の発生が確認されはじめたのは1990年代後半です。
- ・2004年には、尾張地域の3市町、西三河地域の6市町、東三河地域の1町で発生が確認されました。
- ・その後発生地域は拡大しており、現在では山間部を除く県内のほぼ全域に発生が見られています。



(2) 帰化アサガオ類の種類

- ・愛知県では、以下の4種類が確認されています。
- ・マメアサガオは北アメリカ産、その他は熱帯アメリカ産の一年生雑草です。



アメリカアサガオ



ホシアサガオ



マメアサガオ



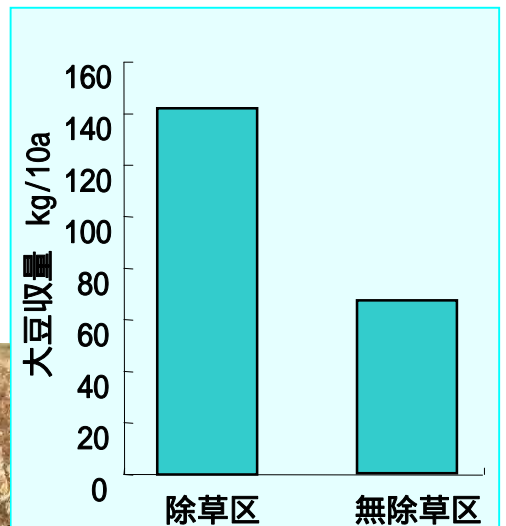
マルバルコウ

(3) 被害の内容

- ・大豆収穫用コンバインへの絡みつきにより作業が妨げられます。
- ・莢付が減り、収量が減少します。
- ・アサガオ類に大豆が押しつぶされて倒伏します。収穫ができなくなります。
- ・汚粒が発生します。
- ・水稲作でも発生し、玄米にアサガオ種子が混入します。



大豆成熟期での帰化アサガオ類の状況



アサガオの除草をしなかった場合の大豆収量の減少

2 アサガオ類の侵入、被害拡大を防ぐために

(1) 早期に発見・防除をしましょう

- ・アサガオ類は多くの場合畦畔からほ場へ侵入します。
- ・畦畔で見かけたらバスタ液剤、ハービー液剤で実を付ける前に防除しましょう。
- ・ほ場内においても発生が少ないうちに手で抜き取りましょう。



道路の法面から大豆畑に侵入するアサガオ類



こんなに多くの種子が落ちる前に対策を

(2) 被害の拡大防止をしましょう

- ・アサガオ類種子は、コンバイン作業及びロータリ作業により新しいほ場へ拡散します。
- ・これらの作業は被害のないほ場から行いましょう。
- ・それができない場合は、作業機の清掃を丹念に行いましょう。
- ・屑ダイズはアサガオ種子が混入していることが多いので、ほ場への還元は厳禁です。



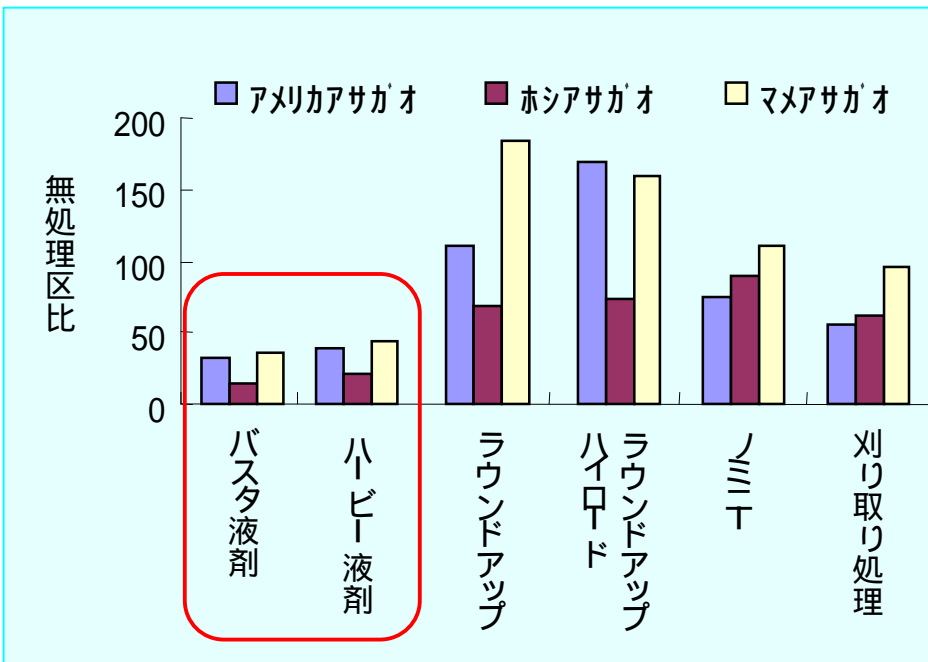
収穫された大豆に混入したアサガオ種子

(3) ダイズ生育の健全化を図りましょう

- ・播種の条件が悪く、出芽不良となってしまったほ場には、アサガオ類を始め多くの雑草が繁茂します。
- ・ダイズの生育が良ければ、葉によりほ場が覆われ、アサガオ類が繁茂しにくくなります。播種前の碎土を十分に行い、出芽率を高めましょう。
- ・湿害を回避するための排水対策が重要なことは言うまでもありません。

(4) 有効な除草剤

- ・土壌処理剤の効果は期待できません。
- ・茎葉処理剤では、**バスタ(グルホシネート)液剤**と**ハービー(ピアラホス)液剤**は効果があります。



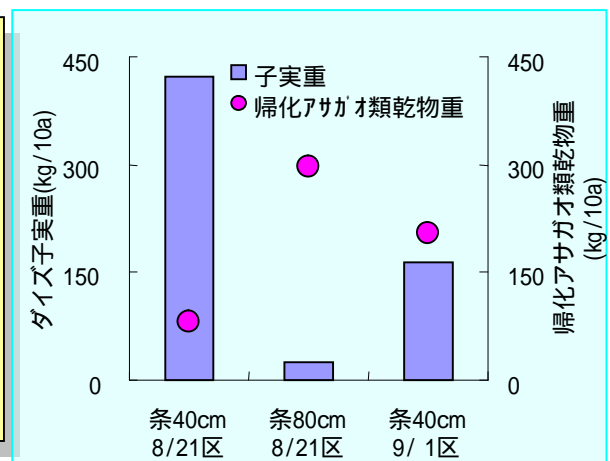
- 1)アサガオ播種:6/17, 処理:8/16,調査9/9
- 2)刈り取り除草は20cmで切断
- 3)調査部位:枠内にある部位のみ採取

除草剤及び刈り取り除草の効果(2005年)

3 アサガオ類が侵入してしまったほ場での対策

(1) 大豆バサグランと中耕の効果

- ・通常の畦幅の場合、ダイズが3～5葉期にバサグランを散布し、その後の中耕との組合せによりアサガオ被害を抑えることができます。
- ・狭畦栽培ではダイズの被度が60%くらいの時がバサグランの散布適期です。
- ・バサグランの散布は、晴天が続くような時の午前中の散布で効果が上がります。
- ・バサグランと中耕は、アサガオ類を根絶することはできませんが、ダイズ収量の確保に有効です。



ダイズ狭畦栽培における大豆バサグラン処理の効果(2007年)

- 1)区の名前は、条間と処理日を示す。
- 2)ダイズ播種日:7/27

(2) 水稲作における防除

- ・水稲作においては、中干し後に発生することがあります。
- ・2,4-Dの散布が有効です。

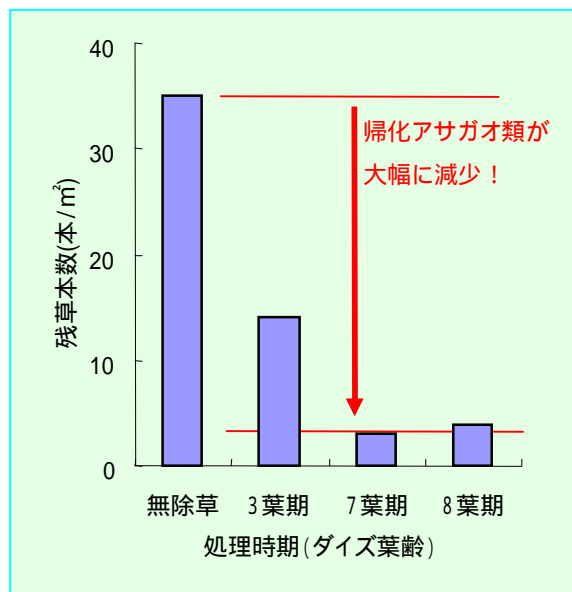
4 新しい防除技術

(1) 乗用管理機による畦間除草剤散布

- ・乗用管理機の前方に除草剤を散布するためのノズルを取り付け、帰化アサガオに効果のある除草剤を大豆の畦間に散布します。
- ・なるべく薬害の少ないノズルの開発が必要です。また、薬剤によっては散布する際に農薬登録の確認が必要です。
- ・現在登録があり、効果の高い除草剤は**バスタ液剤**と**ハービー液剤**です。
- ・畦間除草剤散布は、サイズにかからないよう留意して下さい。
- ・より効果的な防除方法について、愛知県を含めた試験機関、メーカー等で検討を進めています。



乗用管理機による畦間除草剤散布



畦間除草剤散布時期と除草効果



「農薬の使用に当たっては、ラベルの記載に従って使用して下さい。」

登録情報は、平成21年2月17日現在のものです。



農業総合試験場 企画普及部 広域指導グループ
作物研究部 作物グループ
〒480-1193 愛知県長久手町岩作字三ヶ峯1の1
電話 0561-62-0085 内線333
FAX 0561-63-0815